

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年11月14日

【四半期会計期間】 第65期第3四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 カンロ株式会社

【英訳名】 KANRO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 戸名 厚

【本店の所在の場所】 東京都中野区新井2丁目10番11号

【電話番号】 03(3385)8811 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員管理本部長 森本 憲治

【最寄りの連絡場所】 東京都中野区新井2丁目10番11号

【電話番号】 03(3385)8811 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員管理本部長 森本 憲治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第64期 第3四半期 連結累計期間 | 第65期 第3四半期 連結累計期間 | 第64期 |
|--|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年 1月1日 至 平成25年 9月30日 | 自 平成26年 1月1日 至 平成26年 9月30日 | 自 平成25年 1月1日 至 平成25年 12月31日 |
| 売上高 (千円) | 13,026,911 | 13,368,796 | 18,310,018 |
| 経常利益又は経常損失 () (千円) | 106,465 | 339,180 | 239,848 |
| 四半期純損失() 又は当期純利益 (千円) | 116,627 | 630,707 | 46,081 |
| 四半期包括利益又は 包括利益 (千円) | 50,893 | 637,264 | 146,824 |
| 純資産額 (千円) | 10,315,468 | 9,656,877 | 10,512,919 |
| 総資産額 (千円) | 15,867,743 | 16,160,254 | 16,654,051 |
| 1株当たり四半期 純損失金額() 又は1株当たり 当期純利益金額 (円) | 6.43 | 34.79 | 2.54 |
| 潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 65.0 | 59.8 | 63.1 |

| 回次 | 第64期 第3四半期 連結会計期間 | 第65期 第3四半期 連結会計期間 |
|--------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日 | 自 平成26年 7月1日 至 平成26年 9月30日 |
| 1株当たり四半期 純損失金額() (円) | 7.67 | 19.30 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 「売上高」には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第64期第3四半期連結累計期間及び第65期第3四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額」については、「1株当たり四半期純損失金額」であり、また潜在株式がないため記載しておりません。
- 4 第64期の「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当企業集団(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更等はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策から円安基調となり、景気回復の兆しが見えたものの、消費税率引き上げに伴う消費マインドの冷え込みなどから先行は不透明な状況が続いております。菓子業界においては競争が一層厳しく、物流費や販売促進費の増加などメーカーの収益環境は、引き続き厳しいものとなりました。

このような経営環境の下、当企業集団は、育成商品である「パリコレ」や主力ブランド商品である「健康梅のど飴」について試供品のサンプリングを行うなど積極的に販売促進活動を行い売上拡大を図った結果、売上高は前年同期に比べ微増となりました。

袋キャンディは、発売以降成長著しく主力商品となった「金のミルク」の売上増加が貢献したことなどから、前年同期比4.8%の増加となりました。ポケットキャンディについては、「ピュレグミ」とスティックのど飴群の売上減少を主因に、前年同期比5.5%減少となりました。素材菓子は昨年9月より「茎わかめ」の販売を再開したこともあり、前年同期比19.3%増加となりました。この結果、第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3億41百万円(2.6%)増収の133億68百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の利益につきましては、売上総利益は、利益率の高い主力品の売上減少により売上原価率が上昇しましたが、売上高の増加に伴い前年同期比1億5百万円(1.9%)増益の56億36百万円となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費の増加や物流費の高騰に加え、広告宣伝費を増額したことなどから前年同期比3億19百万円増加の60億36百万円となり、この結果、営業損益は前年同期比2億14百万円減益の3億99百万円の損失となりました。経常損益は、朝日工場建設に伴う、ものづくり産業応援助成金70百万円の営業外収益もあり、前年同期比2億32百万円減益の3億39百万円の損失、四半期純損益は、繰延税金資産の一部取崩しに伴い1億67百万円を法人税等調整額に計上したこともあり、前年同期比5億14百万円減益の6億30百万円の損失となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億93百万円(3.0%)減少し161億60百万円となりました。これは主に現金及び預金が6億36百万円増加しましたが、売上債権が11億27百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億62百万円(5.9%)増加し65億3百万円となりました。これは主に未払金が5億25百万円、短期借入金が増加しましたが、仕入債務が2億90百万円、未払費用が2億86百万円、長期借入金が増加し3億円、役員退職慰労引当金が1億58百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ8億56百万円(8.1%)減少し96億56百万円となりました。これは主に四半期純損失6億30百万円、配当金2億17百万円の支払によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当企業集団の事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は3億1百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 50,000,000 |
| 計 | 50,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|-------------|
| 普通株式 | 19,144,505 | 19,144,505 | 東京証券取引所 市場第二部 | 単元株式数1,000株 |
| 計 | 19,144,505 | 19,144,505 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年9月30日 | | 19,144,505 | | 2,864,249 | | 2,141,805 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、該当事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成26年6月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

(平成26年6月30日現在)

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 1,015,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 18,020,000 | 18,020 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 109,505 | | |
| 発行済株式総数 | 19,144,505 | | |
| 総株主の議決権 | | 18,020 | |

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己保有株式525株が含まれております。

【自己株式等】

(平成26年6月30日現在)

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|---------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) カンロ株式会社 | 東京都中野区新井2丁目 10-11 | 1,015,000 | | 1,015,000 | 5.30 |
| 計 | | 1,015,000 | | 1,015,000 | 5.30 |

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までにおいて、役員の異動は次のとおりであります。

(1) 役職の異動

| 新役名及び職名 | 旧役名及び職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|--------------------------|-------------------------------|-------|-----------|
| 取締役 副社長執行役員 管理担当 | 取締役 副社長執行役員 管理担当兼管理本部長 | 武井 実 | 平成26年5月1日 |
| 取締役 専務執行役員 開発・営業担当 | 取締役 専務執行役員 開発・営業・新規事業担当 | 西村 一之 | 平成26年9月1日 |

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 875,595 | 1,512,018 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,656,557 | 3,529,176 |
| 商品及び製品 | 424,576 | 557,024 |
| 仕掛品 | 6,738 | 55,427 |
| 原材料及び貯蔵品 | 194,643 | 206,624 |
| その他 | 344,064 | 359,162 |
| 流動資産合計 | 6,502,175 | 6,219,434 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 7,924,829 | 8,012,808 |
| 減価償却累計額 | 4,649,120 | 4,795,988 |
| 建物及び構築物(純額) | 3,275,708 | 3,216,820 |
| 機械装置及び運搬具 | 12,446,632 | 12,669,340 |
| 減価償却累計額 | 8,878,562 | 9,076,278 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,568,070 | 3,593,061 |
| 土地 | 1,987,222 | 1,940,657 |
| 建設仮勘定 | 13,618 | 100,681 |
| その他 | 1,072,039 | 1,006,985 |
| 減価償却累計額 | 834,711 | 831,837 |
| その他(純額) | 237,327 | 175,148 |
| 有形固定資産合計 | 9,081,948 | 9,026,368 |
| 無形固定資産 | 94,064 | 139,808 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 493,023 | 449,018 |
| その他 | 482,840 | 325,625 |
| 投資その他の資産合計 | 975,863 | 774,643 |
| 固定資産合計 | 10,151,875 | 9,940,820 |
| 資産合計 | 16,654,051 | 16,160,254 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,570,991 | 1,280,514 |
| 短期借入金 | 400,000 | 1,200,000 |
| 未払金 | 403,572 | 928,859 |
| 未払費用 | 1,299,102 | 1,012,151 |
| 未払法人税等 | 29,127 | 15,254 |
| 賞与引当金 | 135,301 | 235,603 |
| 役員賞与引当金 | - | 7,500 |
| その他 | 168,350 | 126,601 |
| 流動負債合計 | 4,006,445 | 4,806,485 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 400,000 | 100,000 |
| 退職給付引当金 | 1,391,834 | 1,445,629 |
| 役員退職慰労引当金 | 228,250 | 69,500 |
| その他 | 114,601 | 81,761 |
| 固定負債合計 | 2,134,686 | 1,696,891 |
| 負債合計 | 6,141,131 | 6,503,376 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,864,249 | 2,864,249 |
| 資本剰余金 | 2,532,550 | 2,532,550 |
| 利益剰余金 | 5,334,123 | 4,485,857 |
| 自己株式 | 330,610 | 331,830 |
| 株主資本合計 | 10,400,313 | 9,550,827 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 112,606 | 106,050 |
| その他の包括利益累計額合計 | 112,606 | 106,050 |
| 純資産合計 | 10,512,919 | 9,656,877 |
| 負債純資産合計 | 16,654,051 | 16,160,254 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

| | (単位：千円) | |
|--------------------|---|---|
| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
| 売上高 | 13,026,911 | 13,368,796 |
| 売上原価 | 7,495,634 | 7,732,353 |
| 売上総利益 | 5,531,277 | 5,636,442 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,716,351 | 6,036,319 |
| 営業損失() | 185,073 | 399,876 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 445 | 348 |
| 受取配当金 | 6,246 | 6,597 |
| 技術指導料収入 | 3,119 | - |
| 助成金収入 | 70,000 | 70,000 |
| その他 | 44,828 | 19,233 |
| 営業外収益合計 | 124,639 | 96,178 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 12,707 | 7,879 |
| 退職給付費用 | 23,621 | 23,621 |
| その他 | 9,702 | 3,981 |
| 営業外費用合計 | 46,031 | 35,482 |
| 経常損失() | 106,465 | 339,180 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 4,425 | - |
| 特別利益合計 | 4,425 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 11,815 | 20,791 |
| 減損損失 | 4,430 | 78,829 |
| 特別損失合計 | 16,246 | 99,621 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 118,285 | 438,801 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 32,796 | 28,983 |
| 法人税等調整額 | 34,454 | 162,923 |
| 法人税等合計 | 1,657 | 191,906 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 116,627 | 630,707 |
| 四半期純損失() | 116,627 | 630,707 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 116,627 | 630,707 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 65,734 | 6,556 |
| その他の包括利益合計 | 65,734 | 6,556 |
| 四半期包括利益 | 50,893 | 637,264 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 50,893 | 637,264 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 806,756千円 | 773,073千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成25年3月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 183,565 | 10.00 | 平成24年12月31日 | 平成25年3月29日 | 利益剰余金 |
| 平成25年8月8日 取締役会 | 普通株式 | 108,792 | 6.00 | 平成25年6月30日 | 平成25年8月30日 | 利益剰余金 |

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成26年3月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 108,784 | 6.00 | 平成25年12月31日 | 平成26年3月28日 | 利益剰余金 |
| 平成26年8月7日 取締役会 | 普通株式 | 108,773 | 6.00 | 平成26年6月30日 | 平成26年8月29日 | 利益剰余金 |

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

当社及び当社の連結子会社の事業は菓子食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日) |
|----------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額() | 6.43円 | 34.79円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期連結損益計算書上の四半期純損失() (千円) | 116,627 | 630,707 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純損失() (千円) | 116,627 | 630,707 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 18,136 | 18,129 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また潜在株式がないため記載しておりません。

2 【その他】

第65期（平成26年1月1日から平成26年12月31日まで）中間配当については、平成26年8月7日開催の取締役会において、平成26年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行いました。

| | | |
|---|--------------------|------------|
| 1 | 配当金の総額 | 108,773千円 |
| 2 | 1株当たりの金額 | 6.00円 |
| 3 | 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成26年8月29日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

カンロ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 小林 功 幸

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 大 枝 和 之

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているカンロ株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、カンロ株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。